

てもらふこともあります。学芸員に限られた時間の中で採集にできるものはごくわずかです。しかし化石・鉱物・植物・昆虫などの分野をはじめとして、セミプロとも呼べる収集家の層が厚く存在します。実は、博物館の資料の多くが、これらの方々から提供されたものです。学芸員は提供を受けたものの価値を判断して標本化し、「同定（専門的な知識に基づき正式名称をつけること）」して登録します。自然系分野は細分化されているため、外部の専門家に依頼することもよくあります。

「受け継ぐ」

閉館した博物館や大学から資料を受け継ぐこともあります。いかに著名な教授が収集した学術的に貴重な標本であっても、教授が退官した場合、大学附属博物館がなければ、標本は行き場を失い「ゴミ」として処分されてしまいます。そのため公立博物館がその受け皿としての役割を果たしています。

収蔵庫がいっぱいで、まとまった量の標本の置き場は悩みのタネではありますが…

また、歴史のある小・中・高校には、思いのほか貴重な資料が倉庫の片隅や理科室の準備室等に眠っていることがあります。

展示では、(財)長瀬総合博物館、国土館大学、熊谷高等学校などの県内の小・中・高等学校から受け入れた標本を紹介します。

「見せる」

一方、展示・普及用につくる資料もあります。その代表例は、植物のレプリカです。植物のさく葉標本（押し葉標本）は、植物の生きている時の姿を想像しにくいいため、植物の生体を採集して提供し、専門業者にレプリカの製作を依頼します。また、亜ヒ酸を使わず安全にふれることができる「さわれる剥製」なども製作しています。

企画展では、カエルとネコのキャラクターが登場して、展示の「ツボ」を楽しく紹介します。お楽しみに。

(いのうえ もとこ・主任学芸員)

受け継ぐ

島村昆虫コレクション
個人より寄贈されたチョウや甲虫の標本。標本作製技術が非常に優れている。

長瀬町井戸産の自然銅や秩父鉱山産自然金など、今では採集困難な標本を引き継ぐことができたぞ。

旧(財)長瀬総合博物館所蔵標本
(財)長瀬総合博物館が所蔵していた鉱物・岩石・化石を187点を受け入れた。

見せる

毛一本にいたるまで忠実に再現しているんだって。びっくりだね。

チチブイワザクラ (レプリカ)
石灰岩地帯に自生する希少なチチブイワザクラの個体を採集して、作製した。満開時に採集する必要があり、採集のタイミングも難しい。

アライグマ本剥製 (触察用)
防除対策研修会などへの貸出の要望が急増している。